令和3年度　自己評価　総計

奈良佐保短期大学附属生駒幼稚園

子ども時代を子どもらしく　のびやかに　のびやかに

教育目標
○生き生きとした　たくましい子ども
○思いやりのある　あたたかい心の子ども
○ものごとを工夫し　考えてやりぬこうとする子ども

努力を要する　1　→　7　出来ている

分野	項　目	評価 1	2	3	4	5	6	7	備　考
保育内容充実度	①教育指導要領に示された目標等を含んだ指導計画にのっとっていたか						■		月ごとの会議で指導計画を確認しながら進めた。
	②幼児の興味を大切にした環境を整えられたか						■		新しい玩具を取り入れる、季節に応じた自然物の用意など、子どもの興味に応じて環境を整えた。
	③発達の姿と保育計画は一致していたか						■		発達の姿を見つめ保育計画を立てたが、感染症の影響で当初の計画通りに出来ない部分もあった。
	④各クラスの実態に応じて工夫できたか						■		クラスの子どもの状況を見ながら、無理強いはせず、一人ひとりへの声掛けを工夫し、大切にした。
	⑤一人一人の発達に応じた指導、目標は挙げられたか						■		学期ごとに子どもの記録をし、目標を決めた。
	⑥振り返りの工夫・環境はできていたか						■		行事ごとに学年会議で振り返りを行った。
	⑦到達の姿を教師全員できちんと見つめられたか						■		月の会議や日々の会話の中で、子どものことを情報共有し意見交換を行った。
環境充実度	①各保育室の整理整頓はできていたか					■			押し入れ等の見えないところもきちんと整理し、見えるところは使いやすいようにした。
	②各保育室にそれぞれの工夫はみられたか						■		クラス内の配置等、学期ごとに見直した。
	③園内の清潔度は高かったか						■		新型コロナ感染症対策として、施設・スクールバスを含め園全体で消毒を実施し、清潔維持に努めた。
	④使った用具類の始末はきちんとできていたか						■		掲示や貼り紙などで意識的に整頓ができるようになった。戸外の道具は忘れがちなので気を付ける。
	⑥全体の小さな生き物に対する姿勢は前向きであったか						■		各クラスでハムスターやモルモットなどを飼育し、子ども達と一緒にお世話をした。
	⑦環境について工夫やアイディア提案されたか						■		うさぎ小屋・新園舎の外壁補修などで環境が改善された。保育室内の動線を考えて配置した。
家庭・地域との連携充実度	①園から家庭への毎日の連絡は偏りなくできたか（電話・コミュなび）						■		コミュなびを活用できた。毎日全員へ連絡することは出来ず、少し偏りがあったように思う。
	②保護者に対して誠意ある対応ができたか							■	笑顔・元気を忘れず対応できた。「聴く」ことを大切にした。
	③子どもたちのために地域の方々に対して具体的な協力を頼めたか						■		コロナ禍で、子どもと地域の方とのかかわりは少なかったが 鹿ノ台いきいきホールへの展示等への参加や、図書館利用はおこなうことができた。 園として地域の方へのお礼やご挨拶は丁寧に行えたと思う。
	④地域の方々に感謝の思いを持つことはできたか						■		
	⑤またその思いを何らかで示せたか						■		
研修充実度	①研修の場を設けられたか						■		園内研修を行い、他クラスの保育を見る機会があった。
	②研修のための園外研修の機会はあったか						■		リモート等で各研修に参加できた。保幼小接続研修・新任研修等にも参加した。
	③学んだことの　記録・報告はできているか						■		各々でしっかりと記録した。
安全管理度	①遊具の点検は定期的にできていたか						■		安全点検表を利用し、全員で実施した。
	②病気や怪我が発生した場合の基本的なマニュアルは把握できていたか						■		職員会議の場などで情報共有を行った。
	③記録はきちんとできているか						■		小さなケガもきちんと記録した。
	④感染疾病発生の場合の処置の把握できているか						■		感染症の発生に応じて、その都度、消毒作業等を行った。
園務分掌遂行度	①各自の担当分は計画・提案・実行・反省・記録はきちんとできたか						■		初めて担当する係も多かったが全員で協力できた。行事の反省記録のまとめに時間がかかった。
	②来年に向けて整理はできているか						■		各係ごとの記録を残し、引き継ぎできるようにした。
	③職員間に協力体制はできていたか						■		学年を越えてたくさんの先生がサポートしてくれた。
	④会議の場で活発な議論ができたか						■		自分の考えは主張できたが、今後は後輩の声にもっと耳を傾けていきたい。

【令和3年度　自己評価に関する総評】　令和3年度は新規採用者3名の初回評価に伴い、昨年度より少し評価の全体平均は下がっているが、全体の質の低下ではない。
引き続きコロナ禍ではあったが、情報共有を徹底し、園全体として「こどもをまんなかに」した保育を心掛けて実施が出来たと考えられる。